

令和6年度第2回北秋田市総合教育会議 会議録

1. 開催期日 令和6年10月31日（木）
2. 開催場所 北秋田市民ふれあいプラザ 大研修室
3. 開会及び閉会 開会：午後1時29分 閉会：午後2時48分
4. 出席者 北秋田市長 津谷 永光
＜北秋田市教育委員会＞
教育長 佐藤 昭洋
委 員 佐藤 正俊
委 員 佐藤 英樹
委 員 蒔苗 隆
委 員 藤本 基子
5. 欠席委員 なし
6. 出席職員 ＜教育委員会事務局＞
教 育 次 長：金澤 誠 教育総務係長：武田 瑞穂
教育総務課長：佐藤 義隆 学校給食係長：笹代 孝徳
学校教育課長：茂内 公貴 学校教育係長：藤田 学
生涯学習課長：山本 明美 生涯学習係長：中島 礼美
文化財係長：渡辺 靖光
教育総務係（書記）：藤本 来夢
7. 案 件 (1) 令和6年度主要教育施策の実施状況（上半期）について
(2) ICTの活用等について
(3) 意見交換

8. 会議録

金澤教育次長	ただいまから、第2回北秋田市総合教育会議を開会いたします。 初めに、津谷市長より挨拶をお願いいたします。
津谷市長	本日は、御多忙中にもかかわらず、「令和6年度第2回北秋田市総合教育会議」に御出席いただき、誠にありがとうございます。また、教育委員の皆様におかれましては、日頃より本市の教育行政の発展に御尽力いただいておりますことに厚くお礼申し上げます。いよいよ秋も深まってまいりました。そうなりますと、やはり昨年でもありました熊の目撃情報、最近は非常に少なくなっておりますけれども、これから冬眠の時期に向かって、やはりしっかり気をつけていかなければいけません。今後とも、子どもたちの安全と安心を守るために、皆様や関係機関と一丸となりまして、被害防止に努めてまいりたいと考えておりますので、どうか御協力ををお願い申し上げます。 さて、先日は急な解散総選挙ということでありまして、第50回衆議院議員総選挙が行われたところでございますが、北秋田市におかれましては、産業祭、文化祭とイベントが続き、11月2日には北秋田市制施行20周年記念式典も控えておりまして、何かと気ぜわしい毎日でございます。また、教育委員会におきましては、北秋田市小中学校適正規模・配置再編プランに基づき鷹巣小学校・鷹巣東小学校・綴子小学校の在り方について、ますます減少する児童数や学校の小規模化による教育等への影響も踏まえ、今後、保護者の皆さんや地域の方々の思いや意向を十分把握した上で、委員の皆様からの御意見を伺いたいと考えているところです。 また、昨年度から「部活動の地域移行」の推進が求められており、引き続き実現に向けた事業展開を行っていくほか、将来の「架け橋プログラム」策定に向け、7月から教育・保育アドバイザーの配置により幼稚園や保育所・小学校への支援が行われ、関係職員による合同研修会等が開催されるなど連携が深まっております。 本日の会議では、今年度の主要な教育施策が議題の中心となっておりますので、委員の皆様から貴重な御意見を賜りますようお願い申し上げ、私からの御挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。
金澤教育次長	続きまして、佐藤教育長より挨拶をお願いいたします。
佐藤教育長	皆様、こんにちは。今年の秋は、天候が穏やかな日が多く、学校では「なべっこ遠足」などの野外活動も順調に行っていると報告を受けております。全ての学校で学習発表会や学校祭、学園祭を終え、産業祭では学校農園活動の掲示の外に、新たに中学生・高校生による地元に関する研究発表を行いました。また、市の文化祭では、学校や生涯学習の成果を展示部門や演示部門で披露できましたし、24日から行われている「読書まつり」への関わり、土曜日に行われる市制20周年記念式典

佐藤教育長	への児童生徒の参加、記念事業として行われる浜辺の歌音楽祭での発表など、まさに文化の秋、実りの秋を満喫しております。夏の運動部活動の活躍、全国大会出場などの活躍についてはすでに報告済みであります。実はこの秋、少年の主張で鷹巣中学校の生徒が全国大会へ、発明工夫展で市長賞をとった鷹巣小学校の児童の作品も全国大会へ、それから本日「お米の作文」というものもありまして、合川小の3年生が、これもまた全国大会へというような形で、運動部活動のみならず、文化面でも全国へ羽ばたいております。また、ふるさと教育を進めてきた阿仁学園は、秋田県活性化中学生選手権で今年も県大会に出場して、昨年は最優秀賞をとっていますので、張り切って発表してくれるだろうと思います。今年のテーマは松岡組と連携して、建設業に関する提案をするということで、私も先日予選を見てきましたが、なかなか面白いテーマで、松岡組の社長さんも、よい提案をもらったというようなお話をされておりました。 また、10月22日には、文部科学省初等中等教育局企画課教育制度改革室の渡邊浩人室長を含む5名の方々が、義務教育学校阿仁学園と「あきたリフレッシュ学園」を視察に訪れ、本市の取組が対外的にも注目されてきていることを実感いたしました。学校再編での小規模義務教育学校の開校や不登校対策については、視察された方々から、今後、全国で同じような課題を抱えている市町村へ、成功事例として紹介していきたいと伺いましたので、本市の良さについて、より一層発信してまいりたいと考えております。 本日の総合教育会議では、今年度上半期の主要教育施策の実施状況についての報告に加えて、学校でのICTの活用についても意見をいただき、それを踏まえ、来年度の計画にも反映できるように検討してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
金澤教育次長	ありがとうございました。 それでは、案件に入らせていただきます。「北秋田市総合教育会議運営要綱」により、議長は市長が行うこととなっておりますので、津谷市長に案件の進行をお願いいたします。津谷市長、よろしくお願いいたします。
津谷市長	要綱に基づいて、議長を務めさせていただきますので、皆様のご協力をお願いいたします。 初めに、案件（1）北秋田市教育大綱に基づく「令和6年度主要教育施策の実施状況について」、各担当課長から基本方針と目標ごとに説明をお願いします。 初めに、学校教育関係について、学校教育課長、教育総務課長からお願いします。
茂内学校教育課長 佐藤教育総務課長	<学校教育関係：学校教育課長、教育総務課長より説明>

津谷市長	ただいまの説明について、何かご意見、ご質問等ございませんか。
藤本委員	学校訪問を通して先生方がウェルビーイングに取り組まれて、明るく元気な先生方の授業を多く拝見することができました。先生方の働き方改革が進んでいることのあらわれだなと実感しました。その中で、これから課題ということで、先生方の在校時間の短縮に向けてということがありましたけれども、夏休みに入って、小学校も中学校もすぐに二者面談や三者面談がありまして、1学期の子どもの様子や夏休みに頑張してほしいことなど、先生から直接具体的な子どものことについてお伝えいただくのですけれども、1学期の通知表の繰り返しになっているような気がしますので、例えば通知表は2学期と学年末の2回にしてはどうかと思います。そうすれば夏休みに先生方もじっくり通知表作成に取り組んでいただけたら、子どもと向き合う時間が少しでも増えるのかなと思ったりしています。実際、1学期、2学期、3学期と3回通知表をいただかなくても、繰り返しになりますけれども、面談で直接お話を伺っていますので、2学期の1回と学年末の2回で、先生方も少し長い目で子どもの様子を見てくださることもできると思いますので、そういった在校時間の短縮という観点からも、通知表2回ということを検討されてはどうかと思います。
茂内学校教育課長	御意見ありがとうございます。また、教員のこともお気遣いいただいて本当にありがとうございます。通知表に関しましては、各校で発行が任されておりまして、そこは学校で判断をしているところでございますけれども、年3回の発行に際して、学期末に、多くの学校では今5時間授業の日を設定するなどして放課後の時間を確保して、成績処理であったり、そういった事務作業に取り組める時間を設けているところでございます。2回ということに関しましては、以前本市でも2学期制をとったことがございまして、それが3学期制に戻ったという経緯もございますので、その点に関しましてはまた議論が必要かなと思っております。
蒔苗委員	在校時間の短縮に結びついていないということがありましたけれども、例えば、過労死ラインまでいった先生がいらっしゃるのかどうか、それから休業なさっている先生に対するフォローはどのようにしているのかということをお聞きたいです。
茂内学校教育課長	残念ながら月80時間の時間外在校時間を超えている職員が複数名おります。また、休業している教職員につきましては、学校が随時連絡を取りながら、戻れるタイミングであるとか、日常の生活について相談に乗っているというところでございます。今校務支援システムのことについて記載しておりますけれども、この新システム一つで、必ずしも時間短縮にはつながらないということもございまして、各校の校長を中心とした指導のもと、優先順位をつけて仕事をするですとか、行事や授

茂内学校教育課長	業の精選ですとか、今年度は標準時数を大幅に超えていた分に関しては見直しをいたしました。また、各学校で分担している校務分掌の平準化ということにも取り組んできているところでございます。
佐藤教育長	やはり部活が強くなって、東北大会や全国大会にいった中学校の部活動の教員は、どうしても時間が超えてしまいますね。土日の分がぐんと多くなりますので、そういったことも含めて、この後地域への移行も皆さんと相談しながら考えていかなければいけない課題の一つだと思っています。あと時間外が多いのは教頭先生です。各校、校長先生はそうでもないのですが、教頭先生方が随分朝早くから夜遅くまでという時間の勤務になっていますので、校長先生と連携しながらやってくれというお願いはしていますが、なかなかやはり教頭先生の時間外については厳しいところがございます。
藤本委員	今年度から給食センターの取組も定例会議でご報告いただいてありがとうございます。母親としては、給食費が値上がりしましたけれども、日々の食材や光熱費も上がっていて、とても同じ値段であんなにたくさん、ふんだんに材料を使ったものを、家庭で同じように出すことはとてもかなわないことで、特に長期の休みで給食がなかったりすると、本当に感謝しています。また、異物混入があった際でも、保護者にその日のうちに、どういう状況か、どう対処したかということを手早くお知らせいただいて、生徒から噂や不安が広がらないよう、早い対応をしていただいて、とても安心しています。ホームページで献立の写真を掲載してくださっているのですが、毎月のテーマを持った献立とか、地元の食材をふんだんに使っている北秋田市の給食ですので、献立の写真だけではなくて、例えば実際の生産者の方とか、実際の食材のものとか、そういった情報や写真も載せていただけたらいいなと思っています。
佐藤教育総務課長	御意見ありがとうございます。昨年からホームページに献立等を載せさせていただきました。いろいろ内容的にリニューアルしながらやってはいるのですが、まだまだ足りないところがあると思いますので、今委員がお話したことも参考にしながら、地元の農家の声だったり、食材だったりというものを、やはり絵がつくとすごく皆さん興味を持ってもらえますので、進めてまいりたいなと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
佐藤正俊委員	この場で感謝申し上げます。先ほど藤本委員がお話しした通り、合川中学校を最後に、今年度の学校訪問が終わりました。その間、学習環境がどこの学校もとてもよいなと感じながら、課題もいくつか見えているわけですが、先ほど総務課長さんからお話があったLED化ですか、森吉中学校の体育館が暗いなど訪問のときに感じていて、これはいつか言わないといけないなと思ったのですが、もう課長さんがし

佐藤正俊委員	っかり見てくださって、体育館の照明を変えてくださるということはありがたいなと。我々が感じていたことをしっかりと見てくださっている、そしていつも学校に足を運んでくれているということは、ありがたいなと感じています。また私の通勤時にいつも見る風景は、阿仁学園のグラウンドの変わっていく状況です。今日はゆっくり行ってきました。そうしたら子どもたちが、秋田土建さんのブルドーザーに乗っていて、学習するよい機会をもらえているなど。天気もよかったし、大変よい学習場面を見させていただきました。3月工期終了予定ということですが、見てみると恐らく雪が降る前にできてしまうのではないかなと感じながら、そしてとても広く環境がよくできているなど感じて、ゆっくり見てきました。子どもたちの元気に遊ぶ姿は来年になるだろうけれども、どうかよいグラウンドをつくってほしいなと感じていますし、恐らく地域の方々も、あそこを通るたびに感じているのだろうなと思います。どうか今後もよい学校づくりをよろしくお願いします。
佐藤英樹委員	私から3点発言させていただきます。1点目はICTのことです。案件として入っておりますので触りだけですが、学校訪問をして、4月より小学校低学年のタブレットのレベルが随分上がったなど実感しております。また先ほど出ました電子黒板についても、有効な活用をしていて大変よかったなと思って見させていただきました。それから2点目は、幼保小連携事業について、先月の教育委員会でも報告させていただきましたけれども、市長からの挨拶でもありましたとおり、本市は専門のスタッフを配置していただきまして、取り組んでいるということもあると思いますけれども、他の市町村に比べて非常に進んで事業に取り組んでいるようです。今後は、幼保小だけではなく、小中、それから公立になりますが高校まで、0歳から18歳まで、少子化が進みますけれども、立派に成長できるように市としてフォローアップをお願いしたいなと思っています。それから3点目は、不登校とか不登校ぎみの生徒についてですが、今年の3月の不登校数と9月分の生徒の数について、データが教育委員会から出ておりますので調べてまいりました。全国的にはコロナが終わったけれども、不登校の生徒が非常に増えているということで、すごく懸念されております。その中で本市は、3月に不登校小学生12名、中学生24名でしたけれども、9月現在として、小学生が9人と3名減っております。それから中学生は24名から19名に減っておりますので、これは校長先生をはじめ、担当の先生方が非常に頑張ってくれている成果ではないかと思い、今後も取組を強くしていきたいなと思い、発言いたしました。
津谷市長	ありがとうございます。評価のお声も委員からいただきました。これを受けて各課長からお願いします。
茂内学校教育課長	ありがたいお言葉をいただきました。学校の活動等につきましても教育環境、中身につきましてもさらなる改善を行っていききたいと思います。それから幼保小連携

茂内学校教育課長	のことで御意見をいただきましたが、こちらのほうは、普段小学校の指導に携わっている先生方が幼稚園・保育園に行って保育を体験するですとか、幼保の先生に小学校の授業と一緒に入ってもらおうといったことも進めておりますので、今後も拡大しながら連携を深めていきたいと思っております。
佐藤教育総務課長	正俊委員から、御意見をいただきありがとうございました。阿仁学園のグラウンドについては、やはり土木技術がすばらしく向上しています。手でやっている仕事を全てデータで管理しGPSで行ったりして、すごく進んでいるなどということで、事業そのものも雪が降る3月までに完成させたいとは思っていたのですが、雪が降る前にできそうですので、なるべく早く完成させ、来年に備えたいと思います。また、また学校の環境についても、委員がお気づきの点がございましたら、私どもにお伝えしていただければ、確認をして対応していきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。
佐藤教育長	私も補足します。昨日、阿仁学園に所長訪問があつて、一緒に行ってきたのですが、そうしたら、ブルドーザーに何か柱のようなものが立っていて、GPSで自動で動くブルドーザーを、若い女性が砂場づくりのほうを担当してやっていて、要するに若い女性でもリモコンというか、人が乗らなくても動けるような、そういった建設機械の導入がされているということで、早速、子どもたちにもきちんとそこを見てもらって、そして建設業にもこんな魅力があるということを勉強させたいなと話をしたら、早速今日やっていただいたのだと思います。
津谷市長	ありがとうございました。それぞれの委員の皆さん方からもすばらしい例を挙げていただきました。実は私も先日、東京鷹巣会に行つてまいりましたら、東京鷹巣会の来賓で東京森吉会の前の会長さんがいらっしゃって、若い人方にも働く現場を見せてあげたいと、高校生からでは遅いのではないかと、だから、北秋田市ではインターンシップみたいなものを、たまたまその建設業のお話がありましたけれども、そういうようなことを中学生ぐらいの時から学ばせて、見せて経験させてはいいかかというような話もありました。まさに今のお話の中で、それを今阿仁学園の方で、実際に工事をされている業者の方々含めて、学校もそういうことをやられているということですので、これはやはり都会では絶対経験することができません。この地域ならではだと思しますので、ぜひ今委員の皆さん方からもあったように、インターンシップの中でも、もっと中学生ぐらいのときから関心を持たせて、建設だけではなくて、いろいろものづくりもそうなのですけど、何かいろいろヒントがあるのではないかと、司会役をしながら感じました。どうもありがとうございました。 他にございませんか。ないようであれば、次に生涯学習関係について、生涯学習課長からお願いします。

山本生涯学習課長	<生涯学習関係：生涯学習課長より説明>
津谷市長	ただいまの説明について、何かご意見、ご質問等ございませんか。
藤本委員	各学校の活動報告などを学校訪問で聞かせていただいて、校長先生や教頭先生が窓口となって、運営協議会の方々との良好な関係を築いていることがよく分かりました。また、私自身もお孫さんが近くにいない方々にも、学習発表会や学校祭に足を運んでほしいと思い、義理の母と一緒に学習発表会に行く時に、同じ地区の方に声をかけて、いつも2、3人の方に一緒に見に来てもらっていて、大変喜ばれています。ですので、そういったちょっとした声かけとか、地域の方を学校に招いていただきたいなと思っています。もう一つ、伝統芸能大会ですけれども、せっかく団体の方が準備してすばらしい発表なさっているものですので、市民の方が見たい芸能をユーチューブで見られるようにするとか、公民館の行事の際にロビーなどで皆さんに公開するとか、そういった映像の保存と公開というのをぜひしていただきたいなと思います。コロナ禍のときにユーチューブで公開した映像には、実際の芸能の発表以外に、代表の方や担い手の方がインタビューに答えくださっていて、すごく熱い思いが伝わってきて、ぜひ多くの方に聞いていただきたい内容でしたので、そういった映像の保存や公開もしていただけたらなと思っています。
山本生涯学習課長	学校運営協議会の評価をしていただいてありがとうございます。担当にも伝え、さらなる活動につながるようにしたいと思います。また、民俗芸能大会の映像の公開につきましては、この後どのようなかたちでできるか検討してまいりたいと思います。
津谷市長	昔、浦田の獅子踊りなど森吉町時代に映像で撮っておいたものを見せてもらったことがあります。ですから、そういう感じで残っている映像は恐らくあるとは思いますが、ただそれを整理しなくてはいいけませんので、その辺をもう少し考えたほうがいいかなと思います。
山本生涯学習課長	それぞれやっているものは、県のホームページから見ることができます。生涯学習課のほうでは、今回の大会など我々のほうで撮っているものを公開できないかと思ひまして、そのことについてはこの後検討してまいりたいと思います。
津谷市長	藤本委員がおっしゃったように、子どもがいないご家庭の方などにも声がけして、学習発表会や行事に参加していただければ賑わいができるというのはよいお話だと思います。ほかにごありますか。

佐藤正俊委員	文化財の保護・保存と、鷹巣南小学校の学校を利用しての民具の保存の活用についてお聞きします。長岐邸の横をたまに通るので、いろいろな方が見に来ているなと思いながら見ていました。前にお話した冬囲いについては、ブルーシートではなく、きれいに冬囲いがされていたので、これも文化財を見る方としては大事だなと思っていました。あと障子張りのボランティア活動については、教育長さんからもお話を聞いていたので、よくやっているなと感じていますが、ただ道路に面した塀が大分朽ち果ててきていて、気になっています。直すとなるとそのための予算も必要だとは思いますが、多くの方が通って見えますし、せっかくの文化財ですから、できれば見える場所はしっかり直してやってほしいな思います。もう一点、民具等の收藏の仕方についてですが、これはどのような活用の仕方をしているのでしょうか。ただ整理整頓や修理だけしているのか、それとも民具を公開したり、あるいは持ち出して行って、いろいろなところで見せているのか、教えてください。
山本生涯学習課長	長岐家住宅につきましては、私のほうでも気になっていたところですが、現在は長岐家の内側の戸の修繕から計画をしておりました。塀につきましても並行して計画していきたいと思っております。民具につきましては、鷹巣南小に引っ越しをして、持っていった状態で、まず各部屋に入っていたところですが、荷札の分類や、タグが外れたりどこのものか分からなくなっているものの確認を、昨年から今年にかけて行っております。この後、その場で、または外に持って行って、もしくは民具の使い方を映像で見せたりと、少しずつ公開できるように進めているところです。
佐藤正俊委員	先日、小学生たちが米の収穫でコンバインを見に行っているとお話がありました。そのあとどうなっているのかということで、カントリーエレベーターとかのつながりがあればいいなという話はしていたので、農業関係の民具であれば、昔はこういうものを使っていたのだと子どもたちが見えるような環境をつくってもらえば、勉強しやすいのかなと感じました。できればそのような感じで、南小学校の開放をできたらいいなと思います。
津谷市長	全部が全部では大変でしょうけれど、今お話があったように、やはり目的やストーリー、歴史として昔の日常が分かるようなものを選んでということも必要かもしれません。
山本生涯学習課長	3階建ての旧南小学校の校舎ですけれども、1階部分に埋蔵のもの、2階の端のほうに古文書類、3階に主に民具が入っておりまして、2階の校長室、職員室だった場所で公開できるようにと考えております。また、中につきましては、常に公開するというよりは見たい方がいらっしゃれば見ていただくことは可能だとして対応しております。

佐藤英樹委員	日本語教室の評価がBとなっておりますけれども、業種によっては、建設業、介護福祉関係など人材不足で外国人人材がどんどん本市にも入ってきているということを知っております。今朝の新聞で横手のボランティアが、そういった外国人に対応した講座を年間を通して行い成果を上げているという記事がありました。このB評価をA評価に変えるために、今後北秋田市ではどのような取組を考えているのかお伺いできればと思います。例えば、事業所の方の意見を聞いて、それを生かして取り組んでいくとか、経営者の方に声を上げていただいて、そういう企画をしていくとか、何かお考えかどうかということなのですが。
山本生涯学習課長	日本語教室につきましては、今までやっていただいている講師の先生方にお任せしているようなところがありまして、今後我々のほうがまだ入っていく余地があるということで評価がBになっているかと思います。ですので、今お話をいただいたようなことも検討させていただきたいと思います。
津谷市長	佐藤委員からお話があったように、今、県のほうでも外国人人材を育てるために、言葉だけではなくて、生活様式からルールを学ぶなど、そういったこともきちんと知ってもらえるように取り組もうとしているようです。というのも、日本に教育実習生のようなかたちで来る人々の中には、かなり日本語を勉強してきている人もいますし、またこちらに来て勉強する方もいます。企業さんが宿舎を建てて、そこでまずやっているところなのですが、その前に1人ぐらいこちらの言葉を分かる人を育ててもらって、そしてまた地域の人たちと一緒にあって、自治会やごみの出し方、災害があったときにどうするかということを、北秋田市としても今までやってきた語学講座だけではなく、今後考えていかなければいけないのかなと思います。これは生涯学習課だけではなく、産業部や商工関係も一緒になって考えていかなければいけない課題ですので、連携して行ければと思っています。貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございました。
山本生涯学習課長	現在も、一応その人に合わせた形でいくつかのグループに分けてたりして実施させていただいておりますが、またきめ細かく対応していきたいと思います。
佐藤英樹委員	よろしくをお願いします。
津谷市長	ほかにございませんか。それでは、(1)の案件につきましては、これまでの実施状況や成果を確認できましたので、これから実施する事業についても十分に成果が達成されるように進めてください。 続いて、案件(2)ICTの活用等について説明をお願いします。

茂内学校教育課長	< I C Tの活用等について学校教育課長より説明>
津谷市長	ただいまの説明について、何かご意見、ご質問等ございませんか。
佐藤英樹委員	先ほども少し触れさせてもらいましたが、学校訪問で大変効果的な使い方をされていて、すばらしいなと思って見させてもらいました。タブレットについて、以前は学校訪問の際にタブレットの充電が切れて、差しっ放しで使用している学校もありましたけれども、今回そういったことは見られませんでした。そういう状況にならないように、予算の兼ね合いもあるのでしょうかけれども、一年でも早く子どもたち一人一人に行き渡るようにしてほしいと思います。それから電子黒板の利点については、今、課長から説明があったように、タブレットと同じような使い方ができるということで、大変驚きながら見させていただきました。反射もなくサイドからでもクリアに見えるということで、すばらしいものだと思いますが、短所としては、やはり購入費用が高いことかと思います。それから、学校訪問でもありましたけれども、不具合が出て授業が少しストップする場面もありましたので、これはやはり先生方のレベルを上げていかないと追いつかないのかなと思います。導入するに当たっては、すばらしい機能がたくさん新しい電子黒板に入っているようですので、その辺の研修をより深めて、有効な活用方法をまた探してほしいと思います。
佐藤正俊委員	私も学校訪問で感じました。子どもたちのスピード、覚えていることもよくここまで1年生からやっているものだと感じました。ただ、あれは先生方がしっかりやらないといけないというか、それを先生方がしっかり研修しているのだろうなと思いました。先ほど英樹先生も話していましたが、電子黒板は本当にどのぐらいするのかと考えたときに、しかしテレビモニターとは全然違うということは分かりました。ですから市の予算としても大変でしょうけれども、将来市を背負って立つ子どもたちですので、できるだけ子どもに予算をしっかりとつけて、早めに対処してほしいなと感じました。さすがに、先生方の技術もすごいなと、しっかり研修されているのだろうなと思いました。これからも手を抜かず、特に低学年の子どもたちのスピードですから、どこの学校もそういうふうに行っているのだろうと思いますが、何とかよい方向に進められるように頑張してほしいなと感じました。
茂内学校教育課長	高価なものであるということには間違いありませんので、財政にもお願いをしながら、できるだけ導入できるよう努めていきたいと思っております。不具合等につきましても、先生方の使い方がまだ習熟していない部分もありますので、研修をさらに深めながら効果的な使い方ができるようにやっていきたいと思っております。
佐藤正俊委員	モニターテレビが導入されたときにはすごいなと思ったのですが、なかなかどこ

佐藤正俊委員	の学校でも学年でも使っているかというところでもなかったんですね。恐らくその当時は相当高価なものを、各学校全教室に導入していただきましたが、それが今度は電子黒板とスピードが早まっていつているのですね。それもあつという間にまた別のものが出てきてしまいそうな時代というか、早くやっついていかないと、次のものが出てしまいます。そうならないようにできるだけしっかり研修をして、早めに全員が学習に使用できるように頑張ってもらいたいと思っています。
津谷市長	前にも話しましたが、最初に中学校に古いほうの電子黒板が入った時にはびっくりしましたがけれども、今のお話を聞きますと、タブレットの大きいものということですね。今の電子黒板を見ていませんので、やはり一度見に行かないといけませんね。
佐藤教育長	授業でのICTの活用に関するアンケート結果についてですが、こちらは子どもたちが回答したアンケートなのでかなり信憑性が高い数字だと思います。本市は令和3年度に（ICT機器を）導入して、令和4年度のアンケートはすごく悪かったのですが、それからぐぐっと上がってきて、このくらい活用できているというのは本当にうれしいと思っています。委員の皆さんも訪問してご覧になったと思いますが、昨日も1年生から9年生までみんな教科書やノートがなくて、普通にタブレットをノート代わりにしている、そういった学級を見てきましたので、本当によく使ってくれているなと思います。それをまた効果的に見せるのに電子黒板があつて、みんなで話し合ったりするときに、非常によく機能していて、電子黒板で画面を大きくしたり、昨日美術の授業でやっていましたけれども、校章を大きくしたり小さくしたり全体を出したりなど、自由自在に先生方も使っていましたので、本当に効果的だなと思って見てきたところでした。
津谷市長	長所も短所もあつて、外国では少し紙の教科書がなくなることに対する苦言を呈しているところもあるようですので、本市では今これが効果的だというメリットのほうをきちんと説明できるようにお願いいたします。 他にございませんか。なければ、続いて、案件（3）意見交換に入ります。 これまで協議したことを踏まえまして、令和7年度の教育施策に向けて、皆様からご意見、ご提言をいただきたいと思いますが、何かございませんか。 特になさそうですので、意見交換はなしということにさせていただきます。 先ほど来委員の皆様方から、それぞれ貴重な御意見や御提案をいただきありがとうございました。これからも、北秋田市の教育行政にしっかりと反映していただきますよう、教育委員会の皆さんも、我々もですが、一緒に頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。 本日の案件が全て終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

金澤次長	ありがとうございました。 続いて、「その他」でございますが、何かございますか。
佐藤正俊委員	もうすぐ市制 20 周年を迎えます。誠におめでとうございました。私が鷹巣中学校に勤めたのは、まだ鷹巣町立鷹巣中学校でした。その次の年から北秋田市立鷹巣中学校になりましたので、早いものだなと思って見ていました。昨日渡った広報を見てみしたら、こんな行事があったのか、こういうものができたのだということを感じながら、この 20 年間を振り返ってみました。大変ご難儀されて、いろいろな面で北秋田市が大きくなっていると感じました。ただ人口が減っているのは寂しいのですが、今の子どもたちの様子を見ていますと、よくやっているなと感じますし、先ほどの I C T の活用についても、子どもたちの成長を喜んだところでした。楽しみにしながらこの式典を待ちたいと思いますので、よろしくお願いします。
津谷市長	ありがとうございます。
佐藤教育総務課長	せっかくの機会ですので一点だけ、鷹巣中学校の第一体育館のスケジュールを委員の皆さんに御報告をさせていただきたいと思います。先ほど主要な教育施策の実施状況で触れましたが、胡桃館遺跡に係る試掘調査を踏まえて、国と県との調整に不測の時間を要しましたので、今年度に予定していました実施設計業務を令和 7 年度に繰り越すための予算を今検討をしているところです。建設場所については、県から遺跡には影響がないということでありましたので、鷹巣中学校敷地内で進める予定でございます。建設スケジュールについては、先ほどお話ししたように、7 年度に実施設計を行いまして、本体工事は令和 8 年度から令和 10 年度の 3 か年で進めたいということで、考えているところです。なお、第二体育館については老朽化が進んでおりますが、既存施設を活用し、必要に応じて修繕を行いながら対応していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。
金澤教育次長	事務局から一点お知らせです。委員の皆様には、北秋田市校長会から教育長宛てに提出がありました「令和 6 年度教育条件整備についてのお願い」の文書を配付させていただいております。各学校から児童生徒の学習や生活環境の改善に関する要望などが出されておまして、皆さんと共有するために配付させていただいたものであります。後ほどお目通しいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。 そのほかに何かございませんでしょうか。ないようであれば、以上をもちまして、第 2 回北秋田市総合教育会議を閉会いたします。 本日は誠にありがとうございました。

(午後 2 時 48 分 閉会)